

研究会「長期予報と大気大循環」のご案内

「長期予報研究連絡会」では下記の予定で研究会「長期予報と大気大循環」を開催します。

今年のテーマは、「日本の夏の記録的高温など、2023年に世界各地で頻発した顕著現象と海況・大気循環」としました。日本では、2023年春から夏にかけて気温が平年と比べて高くなりやすく、特に3月や夏には記録的な高温となった地域があったほか、6月から7月にかけては大雨となった期間もありました。また、日本付近に限らず世界各地でも、夏を中心に顕著な高温や少雨、大雨等の顕著現象が相次いで発生し、全球平均気温は記録的に高くなりました。

そこで今回の会合では、日本の記録的高温を含む、2023年に世界各地で頻発した顕著現象の要因について、地球温暖化、エルニーニョ・南方振動や十年規模変動等の海洋変動、熱帯・中高緯度の気候循環場のほか、季節スケールでの予測可能性も含めた幅広い観点から議論を深めてまいります。

研究会の詳細および講演、参加の申し込みについては下記のとおりです。多数のご参加をお待ちしております。

記

主催：長期予報研究連絡会（代表 中村 尚）

日時：2024年1月19日（金）14時00分～18時00分

場所：Web 会議（接続に関する詳細は、参加者に後日連絡いたします）

講演について：

- ・テーマ：日本の夏の記録的高温など、2023年に世界各地で頻発した顕著現象と海況・大気循環
- ・講演時間：1 講演あたり25分程度（予定）
- ・申込締切：2023年12月15日（金）
- ・概要締切：2024年1月10日（水）
- ・講演要旨：連絡会終了後、4 ページ程度の要旨を提出していただきます

参加について：

- ・参加申込締切：2024年1月10日（水）

申込について：

- ・電子メールの宛先：下記の事務局の連絡先までお願いします。
- ・講演または参加のどちらかを希望するか明記してください。
- ・講演申込の場合は、題目も記載してください。
- ・Web 会議への接続が難しい方はご相談ください。

連絡先：extreme@met.kishou.go.jp（事務局・気象庁気候情報課 竹村和人、中村 哲）